

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	だれもが生き活きと住み続けられるふるさとプロジェクト	実施期間	H27年度～H29年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>笠置町は、日帰り温泉施設の「いこいの館（サービスセンター併設）」、料理旅館等その他の宿泊施設、桜や紅葉、カヌー体験やキャンプ場で有名な木津川、修験道体験の笠置寺や巨岩信仰の拠点であった笠置山等、歴史、景観、自然、文化、スポーツ等の地域資源に恵まれているが、その魅力を活かしきれず、近年は近隣市町村でも日帰り温泉施設の建設や新たな観光施策の展開等により、笠置町への入込客数の減少が課題となっている。</p> <p>また、まちづくりや地域活性化の原動力となる若年層の流出や少子・高齢化により、本町の人口は平成28年3月末では昭和22年のピーク時に比べて半数以下となる1,446人に減少しており地域の農業や産業の担い手が不足するなど、雇用や観光交流など、地域活力が減退するなどの問題が顕在化している。</p> <p>これらの課題に対応するため、これまでも空き家対策事業、子育て支援事業や夏まつり等の観光イベント事業等を実施し、移住促進や交流人口の増加等を目指してきましたが、さらに国が推進している地方創生事業により、若者から高齢者まで多世代の住民が集い交流する場を造り上げ、新しい雇用の創出等を図るとともに、人々の生きがい広がる、また地域の資源を活かし、新たな人材や産業の受入等まちの活性化をもたらす拠点や住民の暮らしを守る機能が集約した拠点を笠置駅周辺に集積し、魅力ある持続可能な地域の再生を行うことが必要です。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>美しい自然と、史跡に恵まれた笠置町の魅力を改めて見直し町内外に発信するとともに、駅周辺地域の小さな拠点づくりの促進、町内観光名所や拠点と各集落間を連絡する公共交通ネットワークの利便性の向上や住環境整備等により、子どもから高齢者までが、世代を越えて交流できる住み良いまちづくり施策を総合的に実施し、人口流出の抑制、町外からの移住を促進し魅力ある持続可能な地域の再編を目指します。</p>						
	総事業費（千円）	56,597	本年度事業費（千円）	27,038	交付金額（千円）	7,842	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	ボランティアコーディネーター設置事業	交付対象事業	住民に対してボランティアに関する情報提供等の実施 ・ボランティアコーディネーター設置補助(2,573千円)	福祉ボランティアふれあいまつりの実施(福祉映画の上映、「ボランティア活動・社協活動・ヘルパ活動」の報告、ミニバザー、ボランティアによるお茶・お菓子のサービス等。 ボランティアだよりの発行年12回 延8,400部			
	母子手当支給事業	交付対象事業	18歳までの子どもを養育母子世帯に1千円/月支給 ・母子手当(158千円)	10世帯15人に支給			
	敬老会事業	交付対象事業	敬老会事業補助及び傘寿、喜寿、90歳以上の老人に記念品を支給 ・敬老会記念品(270千円) ・地域老人生きがい対策(375千円)	敬老会招待者394人のうち参加者137人。 91人の方に記念品贈呈。 笠置小学校児童による落語・小話・合唱等の実施			
	高齢者福祉計画・介護保険計画策定業務	交付対象事業	地域包括ケアの一層の推進を念頭においた平成30～32年度を目標年度とする「笠置町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定を行う。 ・介護保険計画策定業務委託(2,009千円)	27・28年度の2か年事業 27年度は、アンケート調査の実施と分析 アンケート配布628、回収392			
	各種イベント報償等	交付対象事業	フォトコンテスト景品並びにもみじまつり、さくらまつりの出演料及び設営料 ・フォトコンテスト景品(32千円) ・イベント保険料(9千円)	フォトコンテスト応募者 14名(男11名、女2名)38作品 最優秀賞1名、優秀賞1名、佳作2名			
	観光イベント事業(駅前服飾委託)	交付対象事業	春・夏・秋の季節に駅前を造花で飾りつけ観光客を華やかに迎える ・駅前装飾委託(205千円)	JR笠置駅前から商店街にかけて、春はさくら、夏は青葉、秋はもみじと四季に応じた飾り付けを実施。			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

住民協働事業	観光イベント事業(もみじ公園ライトアップ)	交付対象事業	もみじの季節に町の環境を活かし、もみじ公園のライトアップを行う ・もみじ公園ライトアップ委託（565千円）	11月1日から30日の間 笠置寺境内にある「もみじ公園」のライトアップを行う。 期間中の入込客数：6,236人	
	サライトオフィス整備事業	交付対象事業	町内全域に整備されたブロードバンドや空き家を活用し、サライトオフィスとして整備し町内での起業を支援する。 ・サライトオフィス整備工事（19,169千円）	空き家1件をサライトオフィスとして整備	
	笠置町農村移住促進事業	関連事業	笠置町への移住促進を推進するため、受入組織づくりや空き家改修等の事業に要する経費を支援	笠置町へ移住するための空き家改修事業への助成0件	
	空き家バンク	関連事業	町内の空き家の有効活用を図り、地域の少子高齢化の軽減及び過疎化の解消を促し、若年層の定住化や町内人口の増加、地域活動の維持、活性化に寄与する。	28年度空き家登録3件 28年度空き家バンク利用希望者新規4名	
	子育て支援事業	関連事業	3歳～15歳までの子どもにかかる医療費を自己負担額200円以外分の差額を助成	3歳から15歳までの児童等延べ 人に対し助成の実施。	
住民協働事業	地域福祉推進事業	交付対象事業	見守り活動によりお届けする配食サービス、地域住民交流の場としてのふれあいサロン等の実施 ・地域福祉推進事業補助（233千円）	75歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯の方への配食サービス(利用者19人 延410食) 65歳以上の方を対象に、いきいきふれあいサロンの実施(参加者延590人) 高齢者の生きがい対策として書道教室やちぎり絵教室等の実施(参加者延380人)	
	観光協会運営事業	交付対象事業	まちの観光宣伝及び観光客の誘致を行っている観光協会(観光笠置)の活動に対し補助等する ・笠置町観光協会補助金(900千円) ・観光協会草刈り委託(540千円)	観光振興をすすめるため、各種事業の企画、立案、運営にあたる28年度では、笠置山清掃事業、桜ライトアップ、夏まつり、伝統的行催事、映像祭、鍋フェスタ及び駅前飾付委託事業等を実施。 河川敷草刈り8,000㎡	
	鍋-1グランプリ事業	関連事業	商工会等が中心となった、鍋まつり実行委員会が主催するイベントに補助	ご当地鍋21団体、ご当地グルメ16団体、笠置町おもてなし10団体 来場者：11,000人	
	福祉バス運行事業	関連事業	JR笠置駅と町内6集落を結ぶバスの運行	乗車人員：17,553人/年	
成果指標①	成果指標の目標数値	笠置町の空き家への移住 H26：2組 → H28：5組（3年間）		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	H28：2組（累計6組）
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標数値を達成しているため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

成果指標②	成果指標の目標数値	ふれあいサロン参加者 H26：延べ668人→H28：延べ700人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	延べ590人	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	参加者数については、気象条件等により増減があり今年度は目標数値には届かなかったが、29年1月よりこれに加えて新たな住民の居場所作りとして「にぎやかサロン」を実施。住民どおしの交流や閉じこもり予防のため今後も取り組みを推進していく。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	入込客数 H26：243千人 → H28：250千人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	H28：261,498人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を達成しているため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果  ※未達成の場合も効果 を記載すること	福祉バス運行事業（JR笠置駅と町内6集落を結ぶ）等の交通ネットワークの維持に向けた取り組みは、交通分野の課題解決にとどまらず、町づくり・観光さらには、健康・福祉・教育及び環境等の様々な分野で大きな効果をもたらすものであり、子どもから高齢者までを対象とした各種の支援策を通じて、高齢者等に優しい町づくりを進めるとともに、JR笠置駅の無人化対策事業により観光笠置としてのイメージダウンの回避にもつながった。また、7回目（プレ大会から含めると9回目）を迎えた鍋-1グランプリは町内外から約12,000人の来場者があり、「さくらまつり」「もみじまつり」等とともに四季折々の笠置町の魅力を発信する場となっています。 今後も様々な事業を通じて、笠置町の魅力を発信し入込客数の増加や移住者の増加に繋げていきます。	
	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。	
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	農村移住促進事業では、移住する側への助成(空き家改修等)のみならず、移住先への助成(受入組織づくり)を支援することで、双方が安心して事業を実施することができると考えられる。平成28年度においては27年度に引き続き2組の移住者があり、問い合わせ件数も増えているので、空き家の登録件数を増やすとともに、引き続き契約に繋げていきたい。
	府と市町村等との連携に資する成果	府と町の制度を併せることにより、医療助成体制や移住促進体制の強化が図られた。 また、地域イベント助成事業の活用が図れた。
	住民の自治意識を高める成果	各種イベントや活性化事業を通じて、住民自らが笠置の魅力を再発見し再確認することができたことにより、住民の自治意識が高まった。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。



# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	笠置町安心・安全まちづくり事業	実施期間	H26～H28	テーマ	安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	近年、全国的に多発している自然災害に対して、積極的に対策を立てる必要があります。当町においては、町面積の約80%を森林が占めている上、山間地という特質上、土砂災害警戒区域内に合わせる形で集落が形成されており、自然災害に見舞われることは町全体の危機に直面することとなります。また、町を横断する様に流れる木津川も平成25年度に冠水し、平成26年度は冠水間近という状況となるなど、住民は常に災害と隣り合わせの生活を送っています。 災害はいつ起こってもおかしくはないものであるため、常日頃から各方面で防災面の強化を図ることや、消防団など災害時に活動する機関への支援も求められています。						
プロジェクトの目的及び概要	平成26年度に改訂した地域防災計画により、現状に即した計画での防災体制の構築やAED等機器の設置により住民並びに観光客等の安心・安全を守るとともに、間伐により表土流失防止を促したり、地域や人を守る機関の支援を図ることで、より一層の災害に強いまちづくりを目指します。						
	総事業費（千円）	27,171	本年度事業費（千円）	6,739	交付金額（千円）	3,158	

プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	笠置町防災行政無線戸別受信機購入事業	交付対象事業	防災行政無線の戸別受信機購入並びに保守点検を実施する。 ・戸別受信機購入費（778千円） ・防災無線保守管理委託（1,346千円）	防災行政無線整備20台購入
	防災用品整備事業	交付対象事業	災害時に必要な防災用品を購入し、災害発生時に備える。 ・防災用品購入費（837千円）	アルファ米2,450食、粉ミルク3,600g 保存水3,888ℓ、インスタントトイレ200回分
	児童公園整備事業	交付対象事業	安全領域の確保を図るため遊具を移設し、子ども等が安心して利用することが出来るように整備を図る。 ・児童公園整備事業（697千円）	児童公園整備1か所
	休日応急診療所設置事業	交付対象事業	日曜日や祝祭日などの休日に比較的軽症な方を対象とした応急的な診療をする初期救急を目的とした診療所を開設する。構成市町村として負担金が発生します。 ・広域域事務組合分担金（休日応急診療所分1,439千円）	相楽会館内に休日応急診療所を設置 年間開設日：70日
住民 協働	町づくり事業補助金	交付対象事業	各地区の安全対策等に係る経費を補助 ・まちづくり事業補助（950千円）	申請・許可件数：南部区4件、切山区1件、北部区1件、西武区2件、東部区2件 計10件
	消防用資機材等購入事業	交付対象事業	地域防災力の向上と防災意識の高揚を図るため消防用資機材等の整備を図る。 ・消防用資機材購入（192千円）	消防用ホース3本、消火栓ホール5本の整備
	消防団活動事業	交付対象事業	地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っている消防団活動に対して補助する。 ・消防団活動補助（500千円）	消防団活動服（上：11着、下：14着）の整備 防寒具（17着）の整備、操法用照明、脚絆等の整備

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

事業	消防団防火啓発活動事業	関連事業	消防団の町内全戸訪問による火災予防啓発活動の実施	消防団防災訓練後に町内全世帯を廻り、「感電ブレーカーの案内」、「地震による火災について」の啓発チラシの等配布	
	交通安全啓発活動	関連事業	街頭啓発等の実施	春と秋の全国交通安全運動に併せて街頭啓発の実施：（JR笠置駅、主要国道沿い） 防災行政無線を使っての広報活動（注意喚起）の実施	
	防犯啓発活動	関連事業	青色回転灯搭載車による町内巡回の実施	青色回転灯搭載車で、町内パトロールや活動をすることで、防犯対策の強化が図られた。	
成果指標①	成果指標の目標数値	災害による死亡者数 H25：0人 → H28：0人		成果指標の実績値 （平成29年3月31日時点）	H28：0人
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	目標数値を達成しているため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	町内建物火災件数 H25：0件 → H28：0件		成果指標の実績値 （平成29年3月31日時点）	H28：0件
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	目標数値を達成しているため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標③	成果指標の目標数値	防災備蓄品数量（人口に対する充足率） H25：30% → H28：40%（町民×40%×3日分×30）		成果指標の実績値 （平成29年3月31日時点）	H28：30.4%
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	水の充足率は目標数値に届かなかったが、別に非常用食料（アルファ米や粉ミルク）を整備することが出来た。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標④	成果指標の目標数値	町づくり事業補助金申請件数 H25：5件 → H28：8件		成果指標の実績値 （平成29年3月31日時点）	H28：10件
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	目標数値を達成しているため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p>	<p>防災備蓄品整備事業や防災行政無線整備事業等を通して緊急時等の体制整備等を図ることができた。また、休日応急診療所設置事業では、休日に比較的軽症な方を対象とした応急的な診療をする初期（一次）救急の整備を図ることができた。併せて、住民協働事業で実施した消防団活動事業、防火啓発活動事業、防犯啓発活動並びに交通安全啓発活動事業を通じて、住民の安全意識の向上を図ることができた。</p>	
<p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>消防団啓発活動では、年に1度消防団員が町内全世帯を廻り火災予防を呼びかけるチラシを配布（H28年度は感電ブレーカーの案内、地震による火災について）することによって火災予防に対する住民意識の向上を図ることができた。また、交通安全啓発活動では、交通安全対策協議会とともに年2回の街頭啓発活動（JR笠置駅前、主要国道沿い）や啓発のぼり旗の掲出の実施、防災行政無線での啓発等により安心・安全な町づくり事業に寄与している。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>住民協働事業で実施した町づくり補助事業を通じて住民自治意識の向上が図れた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>相楽休日応急診療所は、相楽郡広域事務組合（木津川市・笠置町・和束町・精華町及び南山城村）において共同設置しました。財政状況の厳しい当町において単独では対応の難しい事業ですが、広域事務組合で取り組むことで経費負担の削減に繋がるとともに、住民の安心安全を確保することができた。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	もうひとつの京都推進プロジェクト(笠置町)		実施期間	H28	テーマ	その他(もうひとつの京都)	新規・継続の区分	新
地域における現状、課題及び住民ニーズ	地域創生の実現のためには、地域の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大・産業の振興を図ることが必要である。特に、3つの京都に関しては以下の課題があり、これらの克服を図る。 【海】観光資源は豊富であるにも関わらず、景観整備やコンテンツが不十分である。また、観光資源が点在しており、周遊するシステムが十分に整備されていないため、日帰り観光客が多く地域経済への波及効果も限定的である。 【森】担い手不足や木材価格の低迷などにより集落機能の維持・管理が困難になっており、新たな視点で森資源を活用する必要がある。また、森林の公益的機能が低下することや森の文化の継承が困難であることについて懸念があり、野生鳥獣被害への対応も求められている。 【お茶】文化や産業の衰退にもつながる、消費の減少や生産者の高齢化が進んでいる。地域全体としての発信力に欠け、相乗的な経済効果を生んでいない。また、宿泊施設が少なく日帰り観光が可能で、魅力的なコンテンツや回遊システムが十分に整備されていないため、一人当たりの観光消費額が低い。							
プロジェクトの目的及び概要	豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携して総合的かつ計画的に特色ある地域づくりを進める。 産業・観光を振興することを目的とする。							
	総事業費（千円）	2,453	本年度事業費（千円）	2,453	交付金額（千円）	853		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	もうひとつの京都(JR笠置駅合築工事)	交付対象事業	JR笠置駅合築工事(笠置町) ・給排水・機械設備工事費(2,453千円)			駅舎合築工事 1か所		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	笠置駅舎のの利用者数 平均1,992人/月(平成27年度) → 平均2,010人/月(平成28年度)		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	H28 : 1,993人/月			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	月平均1人とはいえ、利用者数が増えたため				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			



# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 笠置町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>J R笠置駅をまちの玄関口として、情報発信、住民・観光客との交流の場、商業施設（グルメ）と観光の拠点として再整備したことにより、前年度に多目的トイレとして整備した駅トイレとともに、さらなる駅利用者を迎え入れする準備が整った。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>その他の成果</p>	<p>今回の合築工事で、J R笠置駅を複合施設として住民交流と観光の拠点とし、地域の活性化と振興を図るための施設として整備できた。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。